

下水道は、かっこいい!

命を守る役割

下水道

新聞

国立学園小学校
四年梅組
渡邊真奈

『命を守る』下水道

「きたない」、「くさい」というイメージが多い下水道だが、くらしを守る大切な役割がある。

下水道には、そのまま川や海に流さないため、魚の住みかを守り命を守る。こう水を流さず、下水道の役割。この水で人の命があらうくなく、たりしてしまふこともある。それを出来るだけいせぐのだ。つまり、「命を守る」役割。下水道、くらしを支えているのだ。

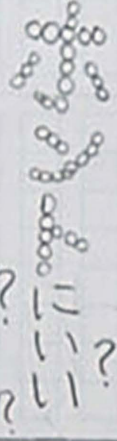
オドロキ

ヨーロッパの昔のすかた

ヨーロッパは、昔、今のすかたからは想像できないほどきたなかつた。それは、人々か自分の小便・大便を道にすていたからだ。最初は何か大丈夫だったよ。うだが、人がふえるとおふれるようになった。しまった。つぼからすていて、

たので、重いのを下に持っていくのが面倒くさいと、階からおとす人もいたそう。伝染病もはやってしまった。そうして、下水道ができた。

それは、下水道に流して、



使った水は下水道に流すのだけれど、その時、流してはいけないものまで流してしまふこと、つまり、たりしてしまふ。例えばトイレトパーがないと、

ティッシュを使うと流すことが多い。ある。水にとけないういっしゅを流してしまふと、つまり原因になる。流していいかどうか、よくよく考えこほしい。

私たちと下水道

下水道について学ぶと、私の生活をあらゆる面から変えているものだということが分かった。最初、下水道と聞いてイメージしたのは、またない、くさいというイメージばかりだった。しかし、かいてまなくらしかできてきているのは下水道のおかげでもある。大切にしなければ、

それはいけないものであることに気がついた。もしなかったら、色々不便なことがおきてしまう。そのことを知らず、下水道に平気で流してはいけないものを流してしまつたら、二われしてしまう。たくさんの人がこのことを知ったら、みんな、大切にすることができると思う。

